令和４年度補正
品目団体輸出力強化緊急支援事業

タイにおけるメロンのプロモーション
及び市場調査

静岡県温室農業協同組合
クラウンメロン支所

A:タイ、メロン（クラウンメロン）

出張期間　2023年11月22日から26日

出張行程

月日	時間	場所	内容
11/22（水）	午後5:25	関西空港	出発
	午後10:00	スワンナプーム国際空港	到着
11/23（木）	午前10:00	トンロー市場	商談、視察
	午後	バンコク市内	市場視察
11/24（金）	午前9:30	在タイ日本国大使館	打ち合わせ
	午前11:00	ジェトロバンコク事務所	打ち合わせ
	午後	Tops Food Hall バンナー店	クラウンメロンフェア
11/25（土）	終日	バンコク市内	商談、同行営業
11/26（日）	午前8:15	スワンナプーム国際空港	出発
	午後 3:45	関西空港	帰国

A:タイ、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2023年11月22日から26日）

1　クラウンメロンの販路拡大のための商談及び現地プロモーション

- 2019年のタイ側での日本産メロンの輸入規制強化後、今回始めてクラウンメロンのタイ向け輸出に成功した。
- バンコク周辺の高級スーパー「Tops Food Hall」の店頭において特設棚を設置いただき、クラウンメロンの販促を実施した。厳しい輸入規制に伴い、今回タイへ輸出したメロンが全部で60玉と少量ではあったが、全て完売し、現地での購買力の高さを感じた。
- 来年以降の輸出拡大に向け、現地の取引先候補との商談や、在タイ日本国大使館等へ訪問し、規制緩和に向けた支援依頼を行った。

B:タイ、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2023年11月22日から26日）

２　タイ（バンコク）での市場調査

- スーパーの青果売り場はどこもかなり大きなスペースを割いており、多種多様な青果物が置かれている。タイ人は家で料理をしない人が多く、調理不要で手軽に食べられる果物は好まれているとのこと。
- 「日本のメロン」を謳ったメロンがかなり多く流通している。恐らく、日本から種を輸入してタイにて栽培しているものと思われる。日本の青果物に価値を認める市場である一方、輸出が軌道に乗った際には商標の管理も重要と考える。

写真左：
訪問した小売店の青果売場
広範囲に青果物が置かれている

写真右：
別の小売店にて売られている
メロン
「オレンジ色の日本メロン」
という商品だが、タイ産

C:タイ、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2023年11月22日から26日）

３　タイ事業総括

・青果物だけでなく、飲食店や雑貨店等、多くの日本のものが進出しており、日本のものに対する関心が総じて高い様子。また、富裕層向けのマーケットもあり、日本の高級フルーツが受け入れられる可能性は十分にあると感じた。フェア実施店舗に話を聞いたところ、本物の日本のメロンをずっと楽しみにしていたという声もあったとのこと。

・今後、タイ向けの輸出拡大を目指すに当たり、日本産メロンに課されている非常に厳しい規制（トラップ調査、合同輸出検査）が障壁となる。数年は少量であっても輸出を継続することで実績を作り、規制に対応できる産地づくりとタイ側への弊所メロンの安全性や品質の高さのアピールを並行して実施していく。